

12

水辺の生きものの観察

主催団体	特定非営利活動法人 蕪栗ぬまっこらぶ 連絡先：〒989-4301 大崎市田尻蕪栗字沢田 23 番地 2 担当者：高橋のぞみ ☎：0229-38-1401 e-mail：makomo@aqua.famille.ne.jp URL：http://www5.famille.ne.jp/~kabukuri/	
プログラム概要	蕪栗沼の生きもの（水生昆虫、魚、水生植物など）を網で取り観察する活動	
ねらい	生きものに触れる機会が少なくなっていることから、自分の住んでいる所に生きものが住んでいることを実感し、体験することによって生きもの大切さや地域への関心を持つ	
時間	90分（45分×2）	
対象学年	小学1年生～6年生	
関連教科等	1年生 生活：いきものとなかよし 2年生 生活：生きものなかよし大作せん	4年生 社会：水はどこから 6年生 理科：生き物どうしのかかわり
対象人数	1クラス（40人まで）、引率教師最低1人必要	
授業形態	現地での体験活動	
場所	蕪栗沼	
時期	6月～8月（要相談）	
準備物	児童：網、虫かご	教師：記録用紙
留意事項		
備考		

【活動の様子】



プログラムの流れ（学習指導案） 90分

学 習 活 動	時 間 (分)	主催団体及び教師の役割	
		主催団体の役割	教師側の役割（最低1人）
1 導入		<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・活動内容や場所の特徴を説明し、安全のための注意を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服装、準備物を点検する。
2 周辺散策	20	<ul style="list-style-type: none"> ○蕪栗沼の説明 ・蕪栗沼・周辺水田がラムサル条約湿地に登録したお話 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場にて説明するため、他の観察者の方の迷惑にならないように、事故防止のため広がらないよう呼びかける。
3 生きもの捕獲作業	40	<ul style="list-style-type: none"> ○生きもの採取 ・小魚や水生昆虫、微生物などを網で採取します。 ・児童が沼に落ちないように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を指示 ・児童が沼に落ちないように配慮する。
4 生きものまとめ	20	<ul style="list-style-type: none"> ○生きものまとめ解説 ・ミジンコがいなくなるとどうなるか、小魚がいなくなったら生き物（自分たち含む）の生活がどうなるのか、食物連鎖の説明をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が沼に落ちないように配慮する。
4 まとめ、ふりかえり ・記録する ・感想発表 ・挨拶	10	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の感想を発表させる。 ・挨拶して終了する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表する時に、児童への呼びかけをお願いします。